

# 着衣泳



水泳学習の最後に、着衣泳を行いました。着衣泳を行った児童は着衣の状態だと「泳ぎにくい。」「重い。」など水着との違いを実感していました。水難事故にあったときは『浮いて待つ』、溺れている人がいたら、自分は飛び込まず、他の人に助けを呼んだり、浮具を投げ込んだりすることを学びました。海水浴やプールなどへ行くときは十分注意してください。夏休みのしおりに安全に過ごすための約束が記載してあります。